

一般社団法人 日本医療薬学会
平成 25 年度第 4 回定例理事会 議事録

一．開催日時：平成 25 年 8 月 26 日(月) 14 時 ～ 16 時 40 分

二．開催場所：日本医療薬学会会議室

三．出席者

会 頭：安原 真人

副会頭：鈴木 洋史、望月 真弓、奥田 真弘

理 事：荒木 博陽、大森 栄、川上 純一、北田 光一、谷川原 祐介、
宮崎 長一郎、山田 清文、山本 康次郎、山本 信夫

監 事：乾 賢一、山田 安彦

陪席者

会計顧問：五十嵐 邦彦

事務局：中澤 一純、松本 とみ恵、星 隆弘

欠席者

理 事：青山 隆夫、井関 健、大澤 孝、河原 昌美、草井 章、佐々木 均、
寺田 智祐

年会長：真野 成康（第 23 回年会）

四．議長：安原 真人

五．会議の成立定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 13 名の出席があり、定款第 38 条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六．議事の経過の要領及びその結果

1. 平成 25 年度第 3 回定例理事会議事録の確認

議長より、本年 6 月 6 日に開催された平成 25 年度第 3 回定例理事会(以下、前回理事会という)議事録案を基に議事内容の確認が行われ、更なる指摘がある場合には本理事会終了時までには指摘するよう要請があった。続いて、資料に基づき、前回理事会開催日から昨日までの会務の状況報告があった。

2. 協議事項

(1) 平成 26 年度事業計画案

奥田理事より、配付資料に基づき 26 年度の事業計画案が説明された。協議した結果、全会一致で承認された。

(2) 平成 26 年度事務委託契約と学会事務局体制

中澤事務局長より、配付資料に基づき、26 年度の事務委託契約に係る日本病院薬剤師会との事前協議の内容と今後の事務局体制の整備方針に係る説明があった。今後数年間で委託によらない事務局体制の整備を目的に、26 年度は従来の事務委託を縮小し、その代替要員を本学会で臨時職員として雇用する方針が説明された。協議した結果、全会一致で承認された。

(3) J-stage 論文投稿審査システムの有償化

山本（康）理事より、配付資料に基づき、J-stage 投稿審査システムの有償化に係る説明があった。今月上旬に開催された投稿システムを運営する JST のセミナーにおいて、現在無償貸与されている当該投稿システムを次年度より有償化する計画に係る説明を受けた。その中では、同システムの利用学会の規模（会員数）に応じた負担が求められることより、本学会の場合、年間 30 万円の利用料になることが説明された。協議した結果、所定の費用を負担した上で、同システムの継続利用が承認された。

(4) 消費税の取り扱い

松本事務局員より、配付資料に基づき、来年 4 月より増税が見込まれる消費税について、現在、本学会で納税、徴収している同税の費目に係る説明と次年度の徴収方針に係る相談があった。協議した結果、次年度の対応として、会員の増加に繋がる年会、公開シンポジウムの参加費等からの同税徴収については、主催者（年会長、実行委員長等）の判断に委ねることとした。

(5) 平成 26 年度予算案

奥田理事より、配付資料に基づき、26 年度予算案に係る説明があった。今年度の予算と比較し、大きな経費が計上されている医療薬学用語集の製作費用について協議した結果、同用語集の製作費用については、担当副会頭が出版社と価格交渉し、その結果を本予算案に反映させた上で、最終的に e-メールにて全役員に回覧・承認を得た後、第 5 回臨時社員総会に諮ることとなった。

(6) 第 5 回臨時社員総会・表彰式次第及び資料

議長より、配付資料に基づき、第 5 回臨時社員総会の資料の説明があり、承認された。なお、議長より、次年度の年会の演題募集開始時までには利益相反に係る規程を整備するよう関係者に指示があった。

(7) 平成 25 年度認定薬剤師・薬物療法専門薬剤師認定試験結果

大森理事より、配付資料に基づき、平成 25 年度認定薬剤師・薬物療法専門薬剤師認定試験（本年 7 月 28 日実施）の合否判定結果及び認定薬剤師、指導薬剤師の認定に係る説明があった。受験者 71 名の採点結果を判定基準に基づき合否判定した結果、60 名を合格としたこと、59 名を認定薬剤師として認定すると共にうち 4 名を指導薬剤師として委嘱すること、また 1 名を薬物療法専門薬剤師認定試験合格と判定する旨の説明があった。協議した結果、全会一致で承認された。認定日（委嘱日）：2013 年 9 月 1 日、認定期間：2013 年 1

月 1 日から 5 年間（委嘱期間は個人毎に異なる）。

（8）認定薬剤師制度規程（認定試験受験資格要件）の見直し

大森理事より、配付資料に基づき、認定薬剤師認定制度規程で定める論文の要件変更に係る改訂案が示され議論された。本件については、従前の理事会で継続的に意見交換を進めてきたが、今回は薬学教育課程の修業年数により論文数 1 編を減ずること及び指導薬剤師の論文要件に申請者本人が筆頭著者となっている論文を 1 編課すという見直し案が示された。協議した結果、教育課程の修業年数による差別化は好ましくないとの意見があり、次回以降の理事会で再協議することとなった。

（9）平成 25 年度がん専門薬剤師認定試験の受験資格

谷川原理事より、配付資料に基づき、今年度のがん専門薬剤師認定申請（がん専門薬剤師受験資格）の審査に係る説明があった。先日 2 日間にわたりがん専門薬剤師認定制度委員会において申請書類の審査を実施し、現在、判定結果を整理している最中であるという経過報告があった。なお、当該資格審査の合格者は、本年 11 月 23 日に実施するがん専門薬剤師認定試験の受験資格を有する。

（10）がん専門薬剤師研修小委員会委員の交代と追加

谷川原理事より、配付資料に基づき、がん専門薬剤師研修小委員会委員の交代及び追加に係る説明があった。異動により本委員を辞退した米村委員に代り、同委員会委員長より推挙された北田徳昭氏及び鈴木賢一氏の 2 名を新たに追加委嘱したい旨の説明があり、協議した結果、全会一致で承認された。

（11）平成 24 年度会費未納者からの要望への対応

議長より、配付資料に基づき、2 名より提出された会費の遡及納入に係る嘆願書について説明があり、協議した結果、全会一致で当該嘆願を了承することとなった。

（12）平成 28 年度の年会の開催について

議長より、配付資料に基づき、平成 28 年度に開催する第 26 回本学会年会に係る会期及び会場として、年会長：松原和夫氏（京都大学医学部附属病院薬剤部）、会期：平成 28 年 9 月 17 日～19 日（3 日間）、会場：京都市・国立京都国際会館という予定に決まったことが報告された。また、第 27 回年会については、次回以降に検討する方針が述べられた。

（13）その他

議長より、日本癌治療学会「がん診療ガイドライン事業」への協力依頼に係る説明があった。依頼事項は、①同学会のホームページ上で公開して「がん診療ガイドラインの医薬品プロファイル」への掲載資料の作成への協力、②同学会がん診療ガイドライン委員会医薬品プロフィール分科会の委員等の推薦（但し、現行の委員等については任期満了までの期間、本学会より推薦すること）の 2 項目となっている。協議した結果、両者共に承諾回答をすることとした。なお、①については、進歩が著しい抗がん薬に関わる対応になるため、来年度の事業計画及び予算案に組み入れ、常設の委員会として編成・活動すること、②については、現行委員の任期満了に伴う改編時に、本学会内で検討した委員等を推薦す

ることとなった。

4. 報告事項

(1) 第 23 回年会準備状況報告

議長より、配付資料に基づき、本年 9 月 21・22 日の両日に仙台市で開催する第 23 回年会の準備状況として、事前参加登録者 4400 名以上、懇親会 240 名以上であること、また、協賛セミナー、展示・広告、寄付等に関する報告と、直近に更新された収支計算書案及び 2 日間のスケジュールに関する説明があった。

(2) 第 1 回がん専門薬剤師アドバンスト研修会プログラム及び申込状況報告

谷川原理事より、配付資料を基に、本年 9 月 1 日に名古屋で開催する第 1 回がん専門薬剤師アドバンスト研修会プログラムの説明と 8 月 14 日の時点で 33 名の参加登録があったことが報告された。

(3) 第 1 回薬物療法専門薬剤師集中講義

中澤事務局長より、配付資料に基づき、本年 11 月 30 日及び 12 月 1 日に日本薬学会長井記念ホールを会場とする第 1 回薬物療法専門薬剤師集中講義のプログラムと参加登録の受付に係る報告があった。当該講義の受講受付は 9 月 25 日より本学会ホームページ上で受付ける予定である。

(4) 第 49、50 回医療薬学公開シンポジウムのプログラム

川上理事より、配付資料に基づき、第 49、50 回医療薬学公開シンポジウムの各実行委員長より提出された両シンポジウムのプログラムに係る説明があった。第 49 回は本年 10 月 12 日に名古屋大学医学部附属病院内講堂で開催され、第 50 回は 11 月 17 日に富山大学内講堂で開催される予定が報告された。

(5) 平成 25 年度がん集中教育講座（京都・6 月）収支報告

議長より、配付資料に基づき、本年 7 月 6 日、7 日の両日、京都で開催されたがん専門薬剤師集中教育講座の収支報告に係る説明があった。

(6) 平成 25 年度 JSPHCS 海外研修プログラムの報告

谷川原理事より、配付資料に基づき、今年度の海外研修プログラムについて、収支報告及び団長と 4 名の研修員より提出された研修報告書に係る報告があった。また、次年度の本研修については、9 月に開催される社員総会において次年度の事業計画及び予算が承認された後、速やかに広報すると共に、運営資金の獲得のために寄付依頼を進めることとなった。

(7) 平成 26、27 年度役員候補者選挙について

議長より、配付資料に基づき、次期役員を選出するための選挙の概要について説明と、今後のスケジュール及び作業手順等について確認が行われた。

(8) 各委員会報告

1) 医療薬学用語集編集委員会第1回作業部会（平成25年6月18日開催）

望月理事より、本委員会作業部会の議事録を基に、医療薬学用語集の編纂に係る編集方針及び作業スケジュールに係る報告があった。

2) 第2回がん専門薬剤師研修小委員会（平成25年6月24日開催）

谷川原理事より、本委員会議事録を基に、協議事項（10）がん専門薬剤師研修小委員会委員の交代と追加、報告事項（2）第1回がん専門薬剤師アドバンス研修会の運営及び本研修小委員会がプログラム編成を担当するがん専門薬剤師集中教育講座の企画に係る協議事項の報告があった。

3) 第1回医療薬学教育委員会（平成25年6月27日開催）

望月副会長より、本委員会議事録を基に、本年2月に、薬学系大学・学部にも所属する臨床系教員を対象に実施したアンケート調査に係る現状報告と今後の対応として第23回年会において最終的な調査結果をすることや今年度の活動予定に係る協議の報告があった。

4) 第2回専門薬剤師育成委員会（平成25年7月16日開催）

山田理事より、本委員会議事録を基に、薬物療法専門薬剤師とそのサブスペシャリティ資格について、薬物療法専門薬剤師資格を取得しサブスペシャリティに繋がりやすくするための方策や他学会・団体の認定資格との連携等について協議したことが報告された。

5) 第5回認定薬剤師・薬物療法専門薬剤師認定試験実行小委員会（平成25年7月28日開催）

大森理事より、本委員会議事録を基に、協議事項（7）平成25年度認定薬剤師・薬物療法専門薬剤師認定試験結果において、試験合格となった新認定者に対して、同試験の参考図書：病態を理解して組み立てる薬剤師のための疾患別薬物療法（南江堂）に対する評価と薬物療法専門薬剤師の認定申請に係る意向調査（アンケート）を実施することが報告された。

（9）後援依頼

議長より、本学会への後援依頼「第2回日本くすりと糖尿病学会学術集会」について、承諾回答したことが報告された。また、本日事務局に届いた後援依頼「第6回JSOPP（日本がん薬剤学会）学術大会」について谷川原理事より説明があり、承諾回答することとなった。

（10）その他

議長より、平成25年度厚生労働科学研究費補助金について、「薬剤師が担うチーム医療と地域医療の調査とアウトカム評価研究」と題する研究課題で申請予定であることが報告された。

以上をもって議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長は 16 時 40 分に閉会を宣言し、解散した。

上記議事概要及びその結果を明確にするため、会頭及び監事は次に記名押印する。

平成 年 月 日

一般社団法人日本医療薬学会

会頭 印

監事 印

監事 印